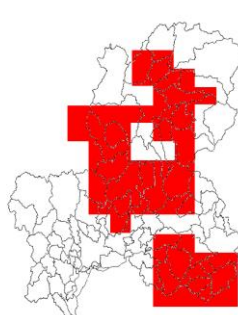


ヨツバハギ		<i>Vicia nipponica</i> Matsum.	準絶滅危惧
			マメ科
選定理由	もともと生育地も個体数も少ないうえに、生育環境が悪化している。		写真(奥田浩之)
形態の特徴	茎は直立し高さ30-80cm。葉は羽状複葉。小葉は楕円形～卵形でほぼ対生する。葉軸の先端は小突起または巻きひげとなる。花は紅紫色～青紫色、葉腋から出る総状花序に5-20花をつける。豆果は狭長楕円形で無毛。		
生態的特徴	マメ科の多年草。花期は7-10月。山麓の草地に生える。水田わきの谷戸(やと)では、定期的の下草刈りが行われ、本種の生育に適した草地環境が維持されてきた。用水路わきや、林道わきなどの明るい草地に生育する。		
分布状況	北海道から九州に分布し、朝鮮、中国大陸に分布する。岐阜県では、全県に点々と見られる。		
減少要因	農業従事者の減少によって、耕作地やその周辺の草地環境が減少したこと。林道わきなどに生育するため、道路拡張などによる環境の改変。		
保全対策	農地の周辺や用水路わき、溜池の堤防などの草地を維持するために、生育地の適度な草刈りや、周辺の樹木の伐採など。		
特記事項			
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982 レッドデータブックあいち植物編 愛知県 2009		

文責:福岡義洋